



次代を担う産地を支える
基盤整備の推進



安全安心で
持続可能な農村の
基盤づくり



しあわせ信州

2023



農的つながり
人口の創出・拡大による
農村づくり

長野県の農業農村整備

みどり

信州の水・土・里が織りなす 未来につづく農業・農村



長野県 農政部 農地整備課

データでみる「長野県の農業・農村の姿」

日本のほぼ中央！ 南北に長く、標高3,000 m級の山々に囲まれた県

県内では、変化に富んだ気候や標高差を活かして、バラエティに富んだ農業が営まれています。特に、野菜、果樹、花き、きのこなどの園芸作物は、多くの品目で日本一の生産量を誇り、東京・名古屋・大阪などの大都市圏をはじめ全国各地に供給されています。

また、豊かな自然環境や美しい農村景観、歴史に培われた文化などの地域資源に恵まれた農村が受け継がれています。



全国最多の農家が営む長野県農業

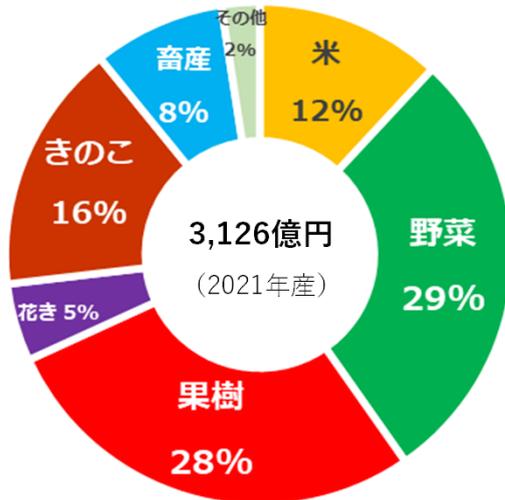
【主な指標の全国シェア・順位】

指標	長野県	全国シェア	全国順位
農家戸数	戸 89,786	5.1%	1位
販売農家	戸 40,510	3.9%	4位
基幹的農業従事者数	人 55,516	4.1%	3位
耕地面積	ha 104,800	2.4%	14位
農産物産出額	億円 3,126	3.4%	8位

【耕地面積の内訳】
(合計面積104,800ha)



【農産物産出額の内訳】



バラエティに富んだ農産物を育む「園芸王国」

【主な農産物の生産量・全国シェア・順位】

レタス	32.7%	(178,800t)	1位
セルリー	42.0%	(12,600t)	1位
はくさい	25.3%	(228,000t)	2位
りんご	16.7%	(110,300t)	2位
ぶどう	17.4%	(28,800t)	2位
醸造用ぶどう	39.8%	(6,744t)	1位
カーネーション	21.8%	(44,000千本)	1位
アルストロメリア	37.4%	(21,000千本)	1位
トルコギキョウ	15.1%	(12,900千本)	1位
えのきたけ	61.0%	(79,018t)	1位
ぶなしめじ	42.8%	(51,122t)	1位



日本の台所を支える高原野菜産地



全国トップクラスの米の生産性

1等米比率 96.6% (2022年産) 全国2位

※玄米検査時の最高品質を示す1等米の割合

米の単収 608kg (2022年産) 全国1位

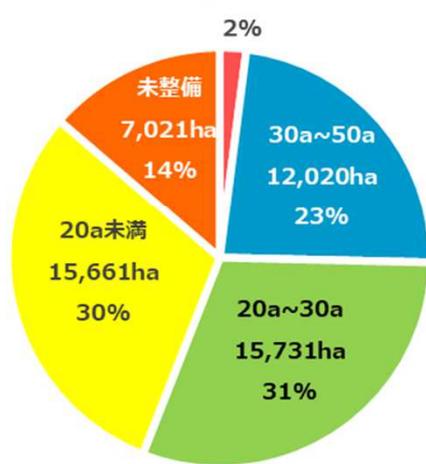
※10アール当たり収量



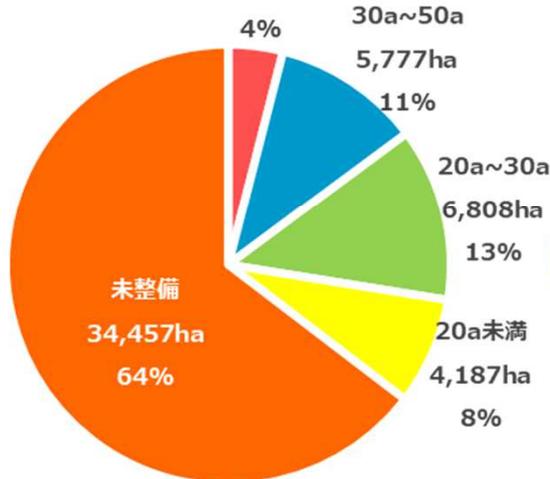
人をひきつける快適な県づくり 移住したい都道府県ランキング 全国第1位 (17年連続)

農地の整備状況 (令和5年4月1日時点)

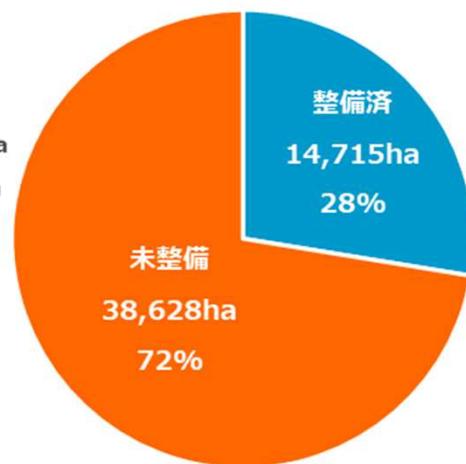
【水田整備】 50a以上
1,033ha



【畑地整備】 50a以上
2,114ha



【畑地かんがい整備】



主な農業用施設等の状況 (令和5年4月1日時点)

基幹的農業水利施設の状況

基幹的農業水利施設延長	1,291 km
R 4 施設整備(長寿命化)延長	64 km

地域別の農地面積と主な農業水利施設

	農地面積 (ha)	用排水路延長 (km)		頭首工 (か所)	ため池 (か所)
		(km)	基幹 (km)		
佐久	17,604	2,308	232	739	431
上田	8,861	1,380	106	351	252
諏訪	5,878	1,158	75	668	62
上伊那	12,549	1,816	187	544	113
南信州	7,952	674	53	664	262
木曾	1,813	331	0	325	18
松本	18,964	3,084	289	777	283
北アルプス	5,499	1,034	64	190	27
長野	16,671	1,704	170	648	340
北信	9,018	1,385	115	381	107
計	104,809	14,874	1,291	5,287	1,895

県が整備した基幹的な農道

広域農道	10 路線	150.3 km
基幹農道	78 路線	254.5 km
県単農道	28 路線	52.1 km

保全すべき施設等

農業用ため池数	1,895 か所
防災重点農業用ため池	690 か所
地すべり危険箇所	320 か所
法指定(農政部所管)	137 か所
土砂崩壊危険箇所	1,749 か所

管理組織の状況 (令和5年4月1日時点)

土地改良区等

		土地改良区	土地改良区連合
団体数	組織	107	6
組合員数	人	111,437	34,968
地区面積	ha	48,646	16,402

多面的機能支払事業の取組

		合計	農地維持 支払	資源向上支払	
				共同活動	長寿命化
組織数	組織	705	701	472	437
取組面積	ha	40,794	40,700	29,429	35,368

おいしい信州ふーど

豊かな信州の風土から生まれた農畜水産物や食文化を「おいしい信州ふーど」と呼んでいます。

県民全体で共有し広く県内外へ発信するとともに、信州ブランドの価値向上を図っています。



信州ワインバレー構想

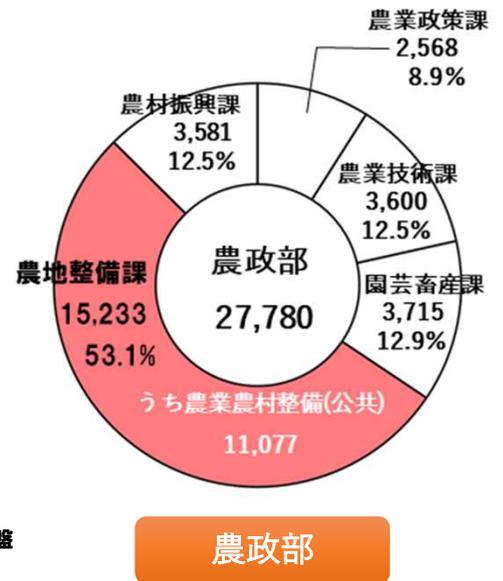
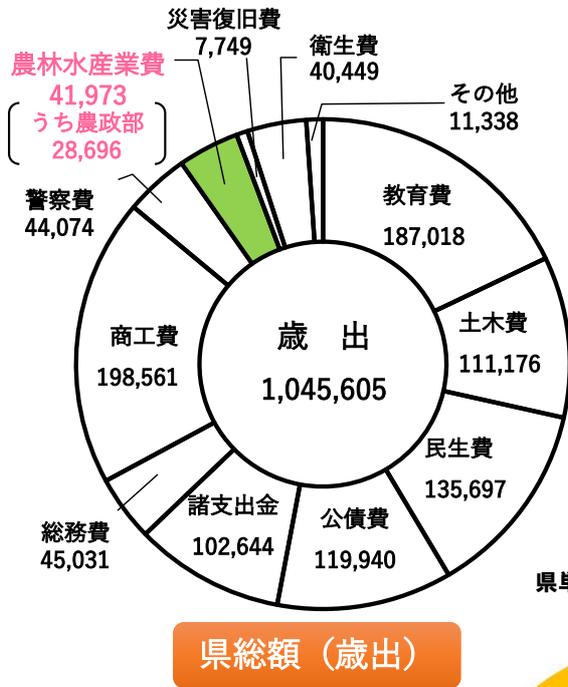
NAGANO WINEのブランド化とワイン産業のさらなる発展を推進するため、栽培から醸造、販売、消費にわたる振興策「信州ワインバレー構想」を策定。

醸造用ぶどうの産地づくりを支援しています。

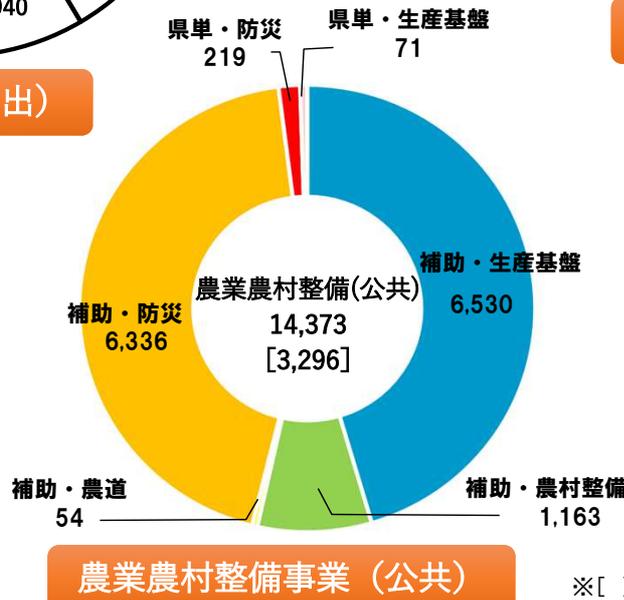


長野県の予算（2023年度）

予算額は、一般会計当初予算で百万円単位

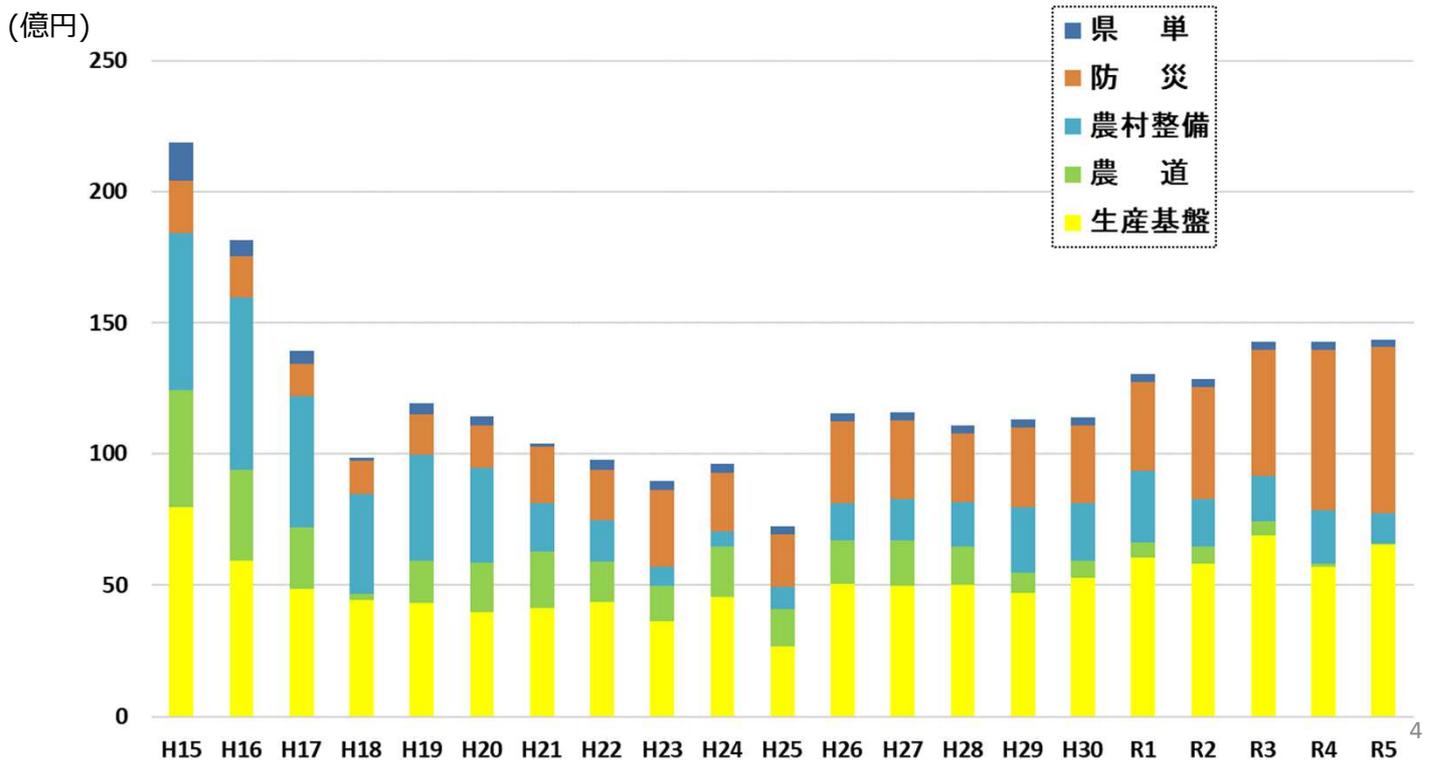


農林水産業費は、主として農林水産業振興、土地改良、林道、治山に関する経費



※[]内は令和4年度11月補正分以内数

農業農村整備事業予算の推移



※H25～R5は前年度の補正を含む
※農業集落排水事業を除く

長野県農業農村整備計画（第9次長野県土地改良長期計画）

『信州の水・土・里が織りなす 未来につづく農業・農村』

計画期間：2023～2027年度（5か年）

計画策定の基本的な考え方

国の土地改良長期計画（2021～2025年度）との整合を図りつつ、第4期長野県食と農業農村振興計画（2023～2027年度）の実行計画として、基本方向の達成に向けた成果目標と計画期間内に取り組む具体的な施策の展開内容を示しています。

めざす姿

- ◆ 生産性の高い農地整備と農業用水の安定供給により、**稼げる産地を次代につなぐ農業の展開**を目指します。
- ◆ ため池の耐震化や豪雨への備え、農業水水利施設等の適切な保全管理体制づくり、中山間地域の特色を活かした地域振興と生活環境の整備等により、**安全安心で暮らしが持続する農村環境**をつくります。
- ◆ 疎水や棚田など農業資産を学びや観光へ活用しながら、**農業者のみならず多様な人々がつながり共に支える、農地・農村環境**を保全する体制を築きます。

基本方向と施策体系

1 次代を担う産地を支える基盤整備の推進

- (1) スマート農業技術の導入や担い手への農地集積・集約化を可能にする、生産効率の高い農地の整備
- (2) 産地が目指す高収益作物の栽培を可能にする、収益性の高い農地の整備
- (3) 用水を安定供給するための農業水利施設の適切な更新

【主な事業】

- ・経営体育成基盤整備事業
- ・県営畑地帯総合土地改良事業
- ・県営かんがい排水事業
- ・団体営土地改良事業
(農地耕作条件改善事業等)

2 安全安心で持続可能な農村の基盤づくり

- (1) 災害から暮らしを守る農村の強靱化
- (2) 住みやすい農村を支える農村基盤整備

- ・県営農村地域防災減災事業
- ・地すべり対策事業
- ・県営中山間総合整備事業
- ・団体営土地改良事業
(農業水路等長寿命化・防災減災事業等)

3 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

- 多様な主体の参画による地域づくりの支援
- 農業資産の魅力発信と地域学習への支援

- ・多面的機能支払事業
- ・ふるさと信州棚田支援事業
- ・信州棚田ネットワーク推進事業
- ・地域振興推進費事業

信州の水・土・里が織りなす 未来につづく農業・農村

基本方向 1

次代を担う産地を支える基盤整備の推進

達成指標	現状 (R3年度)	目標 (R9年度)
農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数	37か所	66か所

(1) 生産効率の高い農地の整備

- 大型機械の導入や自動走行農機の活用を可能とするため、水田の再区画整理や畦畔除去による区画拡大を進めます。
- 農地中間管理事業を活用して、担い手への農地集積・集約を進めます。
- 用排水路のパイプ化やICTの活用による水管理の省力化に向けた整備を実施します。

(2) 収益性の高い農地の整備

- 収益性の高い農産物の品質向上と安定生産のため、樹園地の平坦化や、農産物に応じたかんがい方式の整備を進めます。
- 野菜などの高収益作物の導入に向け、排水施設の整備更新や土層改良による排水機能の向上を図るとともに、地下水水位制御システム「FOEAS」の導入を推進し、水田の汎用化を図ります。

(3) 用水を安定供給するための農業水利施設の適切な更新

- 農業水利施設の適切な保全管理と頭首工や水路橋など、損壊等により営農や生活に与える影響が大きい重要構造物の耐震・長寿命化を進めます。
- 受益地の面積や栽培作物の見直しによる必要用水量の変更に応じ、揚水ポンプの小規模化や施設の統廃合など、適切な規模での施設更新を実施します。



地すべり防止施設の長寿命化



頭首工など重要構造物の耐震・長寿命化



取水・分水ゲートの自動化



樹園地の平坦化による生産性の向上



かん水方式の改良によるスプリンクラー散水



ため池の耐震工事



棚田などの魅力を全国へ発信



農業用水を活用した小水力発電



排水など農業資産を観光に活用



ほ場の区画拡大による大型機械の導入



地域住民との協働による水路周りの草刈り



排水等の歴史を地域学習に活用



スマートフォンを活用した農業用水管理



排水機場ポンプ設備の更新



特産品加工施設など農村生活環境の整備

基本方向 2

安全安心で持続可能な農村の基盤づくり

達成指標	現状 (R3年度)	目標 (R9年度)
防災重点農業用ため池の対策工事の完了箇所数	57か所	127か所
水門を自動化・遠隔化した農業水利施設の箇所数	48か所	84か所
農業用水を活用した小水力発電の設備容量	4,103kW	5,100kW

(1) 災害から暮らしを守る農村の強靱化

- 安全安心な暮らしを守るため、ため池等の地震・豪雨対策、排水機場の更新・増強、地すべり防止施設の長寿命化など、防災・減災対策を進めます。

- 長野県ため池監視システムを活用した緊急避難体制の構築を支援します。
- 流域治水におけるため池や水田を活用した雨水貯留の取組を進めます。

(2) 住みやすい農村を支える農村基盤整備

- 管理者による水門管理の省力化を図るため、水門の自動化・遠隔化を推進します。
- 小水力発電施設の建設を進め、売電収益等による農業水利施設の維持管理費を低減します。

- 農地と水を守っている土地改良区の人材育成や運営強化を図る取組を支援します。
- 中山間地などの条件不利地域では、きめ細かな農地の条件整備（区画整理、用排水路、農道等）、生活環境整備（集落道路、特産品加工施設等）を進めます。

基本方向 3

農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

達成指標	現状 (R3年度)	目標 (R9年度)
地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	49,343ha	50,200ha

- 農村地域の資源や環境を次代へ引き継ぐため、農家のみならず地域住民や都市住民も含めた農村を支える多様な担い手の確保と、地域ぐるみで行う共同活動を支援します。
- 歴史的な排水、ため池、棚田等の農業資産を観光資源とする取組や、地域学習へ活用する取組を支援します。

基本方向 1 次代を担う産地を支える基盤整備の推進

(1) スマート農業技術の導入や担い手への農地集積・集約化を可能にする、生産効率の高い農地の整備

- スマート農業技術の導入や担い手への農地集積・集約化のための整備
 - ・ほ場の区画拡大と併せて農地中間管理機構と連携した農地集積・集約化を促進します。
 - ・地域農業の将来構想である「地域計画」の策定を関係機関と連携して支援します。
- 用排水路のパイプ化やICTの活用による水管理の省力化
 - ・用排水路の地中化による用水管理の省力化と営農の効率化を推進します。
 - ・ICTを活用した自動給水栓の導入を促進します。



(2) 産地が目指す高収益作物の栽培を可能にする、収益性の高い農地の整備

- 野菜や果樹等の導入と安定生産に適した農地や畑地かんがい施設等の整備
 - ・樹園地の平坦化等の区画整理や、畑地かんがい施設の整備・更新を推進します。
 - ・栽培方式に適したかんがい方式が可能となる給水栓への改良を促進します。
 - ・畑作物のための排水対策や荷傷み防止のための耕作道の整備を推進します。
- 水田の高度利用を可能とする農地の整備や水田の畑地化
 - ・排水施設の更新・新設や、土層改良による排水機能の向上を促進します。



(3) 用水を安定供給するための農業水利施設の適切な更新

- 定期的な土地改良施設の点検と長寿命化計画の策定・更新支援
 - ・農業水利施設の長寿命化計画（機能保全計画）の策定・更新を支援します。
- 長寿命化計画に基づく更新整備と重要構造物の耐震化・長寿命化
 - ・長寿命化計画に基づく計画的な補修・補強や更新整備を推進します。
 - ・頭首工や水路橋など重要構造物の耐震化・長寿命化を推進します。
- 受益地の状況の変化に応じた適切な規模での施設更新
 - ・施設の省エネ化や、施設の統廃合等によるストック量の適正化を検討します。



【 達成指標 】

項目	現状 (R3年度)	計画 (R9年度)	管理内容等
農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数	37か所	66か所	農業用水を安定供給するため、基幹的農業水利施設※のうち、更新整備や長寿命化対策が必要な重要構造物の整備を進める〔8次から継続〕

※基幹的農業水利施設とは、受益面積100ha以上の農地に用水を供給、又は100ha以上の農地からの排水を受けている幹線用排水路

【 管理指標 】

項目	基準年 (R3年度)		計画 (R9年度)	
	面積	割合	面積	割合
水田整備面積及び整備率	28,819 ha	55.7%	28,981 ha	58.4%
上記のうち区画30a以上	13,045 ha	25.2%	13,207 ha	26.6%
上記のうち区画50a以上	1,028 ha	2.0%	1,065 ha	2.1%
畑地整備面積及び整備率	18,886 ha	35.3%	18,914 ha	36.8%
上記のうち区画20a以上	14,674 ha	27.5%	14,702 ha	28.5%
基幹的農業水利施設の整備延長	44 km		57 km	
基幹的農業水利施設のうち重要構造物の整備箇所数	37 箇所		66 箇所	
畑地かんがい施設の整備面積及び整備率	14,938 ha	28.0%	14,944 ha	29.1%
畑地かんがい施設の更新整備面積	1,944 ha		2,784 ha	

(1) 災害から暮らしを守る農村の強靱化

- **防災重点農業用ため池の地震・豪雨対策**
 - ・地震・豪雨耐性評価結果に基づく、ため池の防災工事の推進します。
 - ・長野県ため池監視システムを活用した緊急避難体制の構築を支援します。
- **湛水被害を防止する排水機場の更新整備**
 - ・排水機場ポンプ設備の個別施設計画に基づく更新整備を推進します。
- **流域治水におけるため池や水田を活用した雨水貯留の取組**
 - ・ため池の低水位管理や、水田による雨水貯留の取組を支援します。
- **地すべり防止施設の更新と長寿命化の推進**
 - ・地すべり防止施設の適切な保全管理と長寿命化の推進します。



(2) 住みやすい農村を支える農村基盤整備

- **農業水利施設に係る水門の自動化・遠隔化の推進**
 - ・ICT技術を活用した、水門操作の自動化・遠隔化を推進します。
- **農業水利施設を活用した小水力発電による維持管理コストの低減**
 - ・適地調査を実施するとともに、農業用水を活用した小水力発電施設の建設を推進します。
 - ・補助事業を活用することにより、施設管理者等が行う小水力発電の導入を支援します。
- **土地改良区等施設管理者への支援の強化**
 - ・土地改良区運営基盤強化協議会により、土地改良区等の運営強化や人材育成を支援します。
- **中山間地域における定住条件の確保**
 - ・中山間地域の特色を活かした、農産物栽培のための生産基盤と集落道路、加工施設等の整備を一体的に実施します。

【 達成指標 】

項目	現状 (R3年度)	計画 (R9年度)	管理内容等
防災重点農業用ため池の対策工事の完了箇所数	57か所	127か所	頻発化・激甚化する自然災害による農業用ため池の決壊被害を防止するため、防災重点農業用ため池の豪雨・地震対策（防災工事、廃止工事）を進める
水門を自動化・遠隔化した農業水利施設の箇所数	48か所	84か所	水門の自動化・遠隔化により、用水管理の省力化を図るとともに、豪雨時の迅速な水門操作と作業員の安全確保を図る
農業用水を活用した小水力発電の設備容量	4,103kW	5,100kW	農業用水を活用した小水力発電の売電収入を農業水利施設の維持管理費に充当し、施設管理者の費用負担を軽減するとともに、再生可能エネルギーの普及拡大を図る

【 管理指標 】

項目	基準年 (R3年度)	計画 (R9年度)
農地等の湛水被害防止対策着手箇所数	17か所	29か所
地すべり防止施設の長寿命化着手箇所数	10区域	95区域
土地改良区等理事における女性の割合	0.5%	10%

基本方向3 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

●多様な主体の参画による地域づくりの支援

- ・ 地域の話合いのもと、協働して行う農地や水路等の保安全管理活動を支援します。
- ・ 多面的機能支払事業の活動組織や市町村の事務負担軽減のため組織の広域化を支援します。

● 疎水・ため池・棚田などの農業資産の魅力発信や地域学習への支援

- ・ 市町村や施設管理者と連携し、世界かんがい施設遺産やため池百選などの農業資産の魅力を発信する取組を支援します。
- ・ 地域住民や将来を担う子どもたちなどを対象とした疎水等の現地見学会など、農業資産を地域学習へ活用する取組を支援します。
- ・ 信州棚田ネットワークと連携し、つなぐ棚田遺産を始めとする棚田の魅力を発信するとともに、棚田の保全活動やイベントの開催を支援します。



社会科副教材
「長野県の米づくり」



長野県の米づくりについて学んでみよう！



HPを開設し、信州の棚田の魅力を発信



《信州棚田ネットワークHP》

<https://shinshu-tanada.jp/>

【達成指標】

項目	現状 (R3年度)	計画 (R9年度)	管理内容等
地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	49,343ha※	50,200ha	農業・農村の多面的機能を維持・発揮するため、地域ぐるみの協働による取組を維持する。

【管理指標】

項目	現状 (R3年度)	計画 (R9年度)
多面的機能支払事業による活動面積	43,974ha※	44,750ha

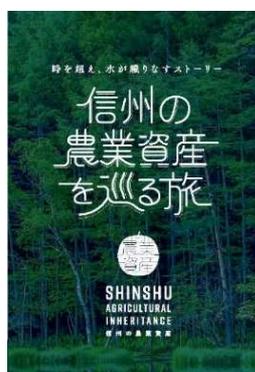
※多面的機能支払事業は、活動面積（認定面積）を集計（第8次計画までは交付対象面積を集計）

信州の農業資産魅力ガイド



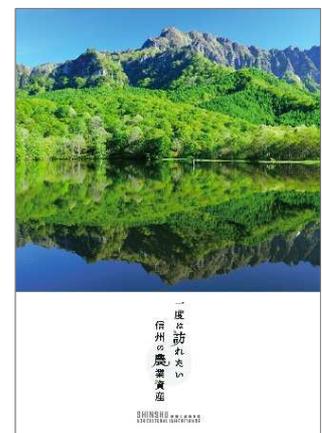
県内各地の疎水、ため池、棚田の魅力を多くの方に知っていただくため、県内113か所の施設の特徴や歴史などを写真とともに紹介するガイドマップを作成しました。

信州の農業資産を巡る旅



「信州の農業資産」を観光資源として活用するため、選りすぐりの施設の情報と、農業資産を巡るモデルコースをまとめた観光企画集を作成し、旅行会社等へ情報提供しています。Webサイトも公開中です。

一度は訪れたい 信州の農業資産



「信州の農業資産」の魅力や、美しい写真とともに、「偉人を訪ねる」「四季の彩りを巡る」「物語を辿る」「技術・工夫を学ぶ」「棚田を楽しむ」の5つの切り口で紹介した冊子を発行しました。

信州の農業資産

信州の豊かな自然とともに、疏水、ため池、棚田などの「農業資産」が織りなす美しい農村風景は、先人の熱意と英知により築かれ、農の営みによって育まれてきました。

長野県では、「信州の農業資産」にまつわる歴史や物語などの魅力を、観光資源や地域学習に活用する取組を推進しています。

世界かんがい施設遺産

高度な技術で安曇野の扇状地に水を導く

拾ヶ堰 じっかせぎ (安曇野市・松本市)

安曇野の複合扇状地に水を導くため、等高線に沿って3000分の1という極めて緩い勾配で造られた疏水。周囲の水田を潤しながら、北アルプスに向かうかのようにゆったり流れる美しい姿は、安曇野の安らぎの空気感を表しているようにも感じられます。



自然の地形を活かした「繰越堰」 くりこしせぎ

滝之湯堰・大河原堰 たきのゆせぎ・おおかわらせぎ (茅野市)

江戸時代中期に名主「坂本養川（さかもとようせん）」によって開削された疏水。比較的水量が豊富な河川の水を、いくつもの河川を渡って順々に水不足の地域へ送っていく「繰越堰」と呼ばれる水利システムは、当時の画期的な技術でした。

荒野を美田に変えた市川五郎兵衛の偉業

五郎兵衛用水 ごろべえようすい (佐久市)

江戸時代の初め、戦乱で荒れた帝の御牧を新田に変えるため、市川五郎兵衛が私財を投げ打って開削した疏水。蓼科山の湧水を水源とし、厳しい地形にあわせ、堀貫（トンネル）、水路橋、築堰（盛土）などの高い技術が駆使されています。



日本の百選（棚田、疏水、ため池）

つなぐ棚田遺産

15か所 **全国3位**

稲倉の棚田	上田市	根越下沖の棚田	長野市
山室の棚田	伊那市	栃倉の棚田	長野市
中尾の棚田	伊那市	大西の棚田	長野市
飯沼の棚田	中川村	田沢沖の棚田	長野市
よこね田んぼの棚田	飯田市	姨捨の棚田	千曲市
市野川棚田	麻績村	福島棚田	飯山市
青鬼の棚田	白馬村	野沢沖の棚田	野沢温泉村
小谷村棚田群	小谷村		

疏水百選

5か所 **全国最多**

五郎兵衛用水	佐久市
塩沢堰	立科町
拾ヶ堰	安曇野市 松本市
善光寺平用水	長野市
八ヶ郷用水	中野市

ため池百選

5か所 **全国2位**

塩田平のため池群	上田市
御射鹿池	茅野市
荒神山ため池 (たつの海)	辰野町
千人塚城ヶ池	飯島町
菅大平温水ため池 ¹¹ (あやめ池)	木祖村

長野県の農業農村整備事業関係組織

信州棚田ネットワーク

事務局 農政部農地整備課
 ☎ 026-235-7241
 ✉ nochi@pref.nagano.lg.jp

